

## 「地域における安心安全のためのRFIDの利活用に関する調査検討会」による基礎実験を実施

信越総合通信局が主宰する「地域における安心安全のためのRFIDの利活用に関する調査検討会」（座長 信州大学総合情報センター 不破 泰 教授）は、12月7日（火）に大規模地震により倒壊した建物等瓦礫の下敷きになった被災者救助に活用するための搜索支援システムの実用化に向けた基礎実験として、950MHz帯RFID等に係る電波伝搬実験を信州大学旭キャンパス（松本市）において実施しました。

なお、得られたデータについては、分析・評価を行うとともに、実用化システム案に係る利活用課題や技術課題について検討し、3月末には報告書を取りまとめることとしています。



【コンクリート板を使用した電波伝搬実験】



【瓦礫を模擬しての電波伝搬実験①】



【瓦礫を模擬しての電波伝搬実験②】

## ICT（情報通信技術）を活用した防災・減災セミナーを開催

信越総合通信局は、信越情報通信懇談会と共催で、松本市内で「ICT（情報通信技術）を活用した防災・減災セミナー」を開催します。

- 1 日時 平成23年1月28日（金）13時20分～16時00分
- 2 場所 ホテル ブエナビスタ 3階 グランデ 松本市本庄1-21（JR松本駅東口より徒歩7分）
- 3 内容等

### ◆基調講演

★ 国立大学法人新潟大学 災害復興科学センター 特任助教 井ノ口 宗成 氏  
「新潟県中越地震、新潟県中越沖地震等の教訓をもとにした災害対策のあり方」

### ◆パネルディスカッション（発表を含む）

テーマ 「大規模災害発生時及び復興時の情報通信利用」

★ 国立大学法人新潟大学 災害復興科学センター 特任助教 井ノ口 宗成 氏ほか

### ◆情報通信システム機器の展示（12時30分～13時20分まで）

セミナーに先立ち同会場で、大規模災害時における被災者救助等の導入が期待される情報通信システム機器の展示を行います。

（問）無線通信部 企画調整課 026-234-9940



## CONTENTS

## 「ICT研究開発セミナー in新潟」を開催

さる11月8日(月)新潟市内において、「ICT研究開発セミナーin新潟 ～ICTによるイノベーションと地域活力の創出に向けて～」を、信越情報通信懇談会及び国立大学法人新潟大学との共催により開催しました。このセミナーは、産・学・官・地域等と連携した情報通信技術の研究開発等を通じ、信越地域における研究活動や地域の活性化を推進することを目的として、最新の情報通信技術政策動向や研究成果、今後の展開や期待について講演をいただくことにより、地域からのICT分野におけるイノベーション創出に向けた研究開発のあり方について展望するものです。

当日は、独立行政法人情報通信研究機構(NICT)富永昌彦理事からの基調講演「情報通信技術政策とNICTにおける研究開発の最新動向」をはじめ、研究開発事例紹介として新潟大学工学部の牧野秀夫教授からは「環境保全と救急医療におけるICT」と題して、朱鷺の生態系の保全や中越地震の教訓から救急医療におけるICTの活用等に関する研究の取り組みについてご講演をいただき、また、東京大学の中尾彰宏准教授からは「新たなネットワークの実現を支える進化する仮想化技術」と題して、JGN2plusを使った東京から遠隔でのご講演をいただきました。さらに、NICT大手町ネットワーク研究統括センター長 下條真司氏から「新世代通信網テストベッド構想(JGN-X)」と題して、今後の新たな研究開発環境への展開として新世代ネットワーク技術等についてご講演いただきました。会場の新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」にはIT関連企業をはじめ約60名の参加をいただき、みなさん熱心に聴講され、今後の信越地域でのICT関連研究開発の発展が期待されます。



【新潟大学 牧野教授】

(問)情報通信部 情報通信振興室 026-234-9937

## 「信書便制度に関する説明会」を松本市と新潟市において開催!

信越総合通信局は、12月3日及び8日、松本市の松電バスターミナルビル及び新潟市のコープシティ花園ガレソンホールにおいて「信書便制度に関する説明会」を開催しました。

平成15年に施行された「民間事業者による信書の送達に関する法律」(略称:信書便法)により、郵便事業会社以外の民間事業者でも信書の送達分野に参入できるようになり、信書便法施行から毎年着実に増加しており全国で339者、信越管内では6者が特定信書便事業に参入しております。

また、特定信書便の総引受通数については、平成21年度には約529万通(対前年度比約1.24倍)に、また、特定信書便事業の売上高については約43億円(対前年度比約1.23倍)と、順調に拡大してきています。説明会では、「信書便制度の概要」を総務省情報行政政策局信書便事業課の職員から、「特定信書便事業に係る申請手続等」を信越総合通信局信書便監理官から説明を行い、適正な信書の送達方法、信書便の活用方策、申請手続などに関し説明をさせていただきました。今回は、新潟・長野両県の上場企業、運送事業者、自治体、教育関係機関などの担当者の皆様など多数の参加をいただきました。



【信書便制度説明会の様子(12/8新潟会場)】

参加者からは、信書便事業の役務内容の関すること、送付物の事例が提示され信書に該当するか、信書便事業へ参入に関する留意事項など多数の質問などが寄せられました。当局では、引き続き信書便制度に関する周知を行い、信書の送達に関し適正な利用の促進を図るとともに、信書便事業へ参入を希望している事業者に対し適切に対応を行って参ります。なお、信書便制度・事業に関するお問い合わせは、信書便監理官までお願いします。

(問)信書便監理官 026-234-9932



## 「電波の安全性に関する説明会」を開催!

信越総合通信局は、12月9日(木)、(社)電波産業会及び信越情報通信懇談会との共催で、新潟県湯沢町において、地域の方々を対象に電波の安全性に関する正しい知識の普及、理解の向上を目的とした「電波の安全性に関する説明会」を開催しました。

最初に、信越総合通信局の苑田洋史無線通信部長より、電波防護指針に基づき行政と業界団体が一体となって電波の安全利用に取り組んでいることなどが説明され、続いて、電磁界情報センター所長である明治薬科大学の大久保千代次客員教授より、国際的に多くの研究が行われており携帯電話の電波については特に警戒する必要は示されていないが引き続き研究を実施していることなどが紹介されました。

湯沢町周辺地域の一般の方のほか新潟県内外の無線関係事業者、医療関係者、救急関係者など56名の方が参加され、電磁過敏や医療用機器への影響に関する質問が出されていました。

信越総合通信局では、「電波の安全性に関する説明会」を毎年度開催しており、今後も長野県内、新潟県内で開催していくこととしております。



【講師 明治薬科大学 大久保教授】



【説明会の様子】

(問)無線通信部監視調査課 026-234-9945

## 狩猟時の電波利用、マナーを守って!

11月15日から2月15日まで狩猟期間となっておりますが、猟場が携帯電話の通話エリア外となる場合もあることから、同行者との連絡手段等としてアマチュア無線などが利用されていることもあります。

総務省では、これまで狩猟愛好家の方々には右に示すようなリーフレットを配布して電波利用のマナーの向上等に関する周知広報を行ってきていますが、一部の狩猟愛好家においては、法令で規定されている電波利用のルールを無視した運用が行われているため、狩猟期間中には全国の総合通信局に対して、「アマチュア無線の使い方がおかしいのではないか」などの申告が寄せられます。

管内の主要な地域に設置してある遠隔電波監視システム等を活用して、違法・不法な電波の監視を行い、正しく無線局を運用している方の保護と良好な電波利用環境の維持を図っていますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ハンターの皆さんへ

### 無線機は ルールを守って 正しく使いましょう。

狩猟業務で通信を行う場合は、簡易無線等を使用しましょう。  
業務の目的でアマチュア無線は使用できません。

狩猟業務以外でアマチュア無線を使用する場合は、電波のルールを守って正しく運用しましょう。

- アマチュア無線は全数帯の利用ではなく、むしろ限定的な無線技術の興味に基づいて行うものです。
- 無線機の免許及び無線従事者の資格の取得が必要です。
- 免許状に記載された周波数及び空中線電力の範囲内で運用して下さい。
- 運用する際は、免許状に記載されたコールサインを必ず表示して下さい。
- 電波法で使用規定の周波数帯域に守って運用して下さい。

	144MHz帯	430MHz帯
144MHz帯及び430MHz帯において、FM無線電話が運用可能な周波数	144.70～145.80MHz	431.40～431.50MHz 432.10～434.00MHz 438.00～439.00MHz

**警告** 免許を受けずに無線局を開設又は運用した場合は、罰せられます。

外国規格の無線機(FRS、GMRS及びMURS)は国内では使用できません。

FRS/GMRS/MURSの外国規格のハンディー・トランシーバーはMURS付きMURSドックマーカー、インターフェイスアダプター等で変換して使用して下さい。これらの機器は日本の技術基準に適合していません。国内では放送局の電波が受信専用機器、地上デジタル放送などの電波障害の原因となる恐れがあり、国内での運用は禁止されています。

(問)無線通信部 監視調査課 026-234-9945



## Let's 地デジ! 私たちも応援します!!

### 第7回 TSB テレビ信州 藤原 里瑛さん



長野県及び新潟県で地デジの周知広報活動に取り組む地デジ推進大使をシリーズで紹介します。第7回は、TSB テレビ信州の藤原 里瑛（ふじわら りえ）さんです。

#### ■地デジ推進大使に任命された感想は？

皆さんの記憶にも残っているかと思いますが、テレビ信州で私の前に大使をしていた松井美幸アナは、地デジCMの中で歌ったり踊ったりしていたのです。それを見ていた私は、「果たして、自分にも出来るのだろうか…」と、不安っぱいの就任でした。

#### ■地デジ推進大使として活動（エピソードなど）しての感想は？

地デジの活動では、野球選手の格好や時代劇さながらの着物姿でのCM撮影の他、普段決して出演することが出来ない県内の各放送局を回って地デジをPRするという、貴重な経験をさせていただきました。CM撮影はコスプレのような格好だったため、視聴者の方から「見たよ」と声をかけてもらうたび、嬉しいような恥ずかしいような気持ちでいます。

#### ■地デジの良さについてひと言（PR）！

「北陸まで新幹線が伸びる！」近い将来、北陸が一気に身近な場所になります。

そこで、どんな観光資源があるか取材に行きました。

富山には、珍しい路面電車や、名物・白エビを始め活きの良い海の幸、金沢には昔ながらの美しい茶屋街、豪華な海鮮丼などがあり、この取材を通して得た感動を、地デジの映像はより美しくリアルに映しだしてくれるんです。

#### ■地域のみなさんにひと言！

アナログ放送終了まで、約半年に迫っています。切り替えに乗りおくれのないよう、地デジ受信のご準備をお願いいたします。



#### ■プロフィール

名前：藤原 里瑛（ふじわら りえ）  
出身地：岩手県  
趣味：バスケボール、射、自転車…と体を動かすこと  
性格：好奇心が旺盛、興味を持ったことは、すぐに行動にうつすタイプです。

## 管内における全体契約数の増加傾向続く！

### 携帯電話及びPHSの普及状況（平成22年9月末現在）



管内の携帯電話及びPHSの契約数合計は3,516,422件、普及率は76.0%であり、年間平均伸び率は3.7%となっています。

携帯電話の契約数は3,436,972件、普及率74.3%であり、昨年同期（平成21年9月末）と比較して、契約数で128,175件、普及率で2.8%増加しています。

PHSの契約数は79,450件、普及率1.7%であり、昨年同期の83,539件をピークとして減少傾向が続いており、契約数で4,089件、普及率で0.1%減少しています。

【信越管内及び全国の普及状況（平成22年9月末現在）】

区分	携帯電話		PHS		携帯電話+PHS	
	契約数	普及率	契約数	普及率	契約数	普及率
信越管内	3,436,972	74.3%	79,450	1.7%	3,516,422	76.0%
全国	115,400,828	90.3%	3,777,748	3.0%	119,178,576	93.3%

注1）普及率は、平成17年度（10月1日）国勢調査の全国の総人口（確定値）を基にした人口普及率を示す。

【総人口数】 新潟県：2,431,459 長野県：2,196,114 信越管内：4,627,573 全国：127,767,994

注2）PHS事業者が1社となったことから、平成21年3月末からは県別の掲載はしていません。

イベント

#### ■ブロードバンド利活用セミナーを開催

日時：2月 4日（金） 場所：青木村文化会館

#### ■情報セキュリティセミナーを開催

日時：2月17日（木） 場所：ホテルメトロポリタン長野

